第13回議会運営委員会会議記録

開閉会日時	令和４年11月２日（水曜）　午後　１時30分　開会		
	休　憩　14:12-30　14:52-15:05		
	午後　３時31分　閉会		
会議場所	役場３階委員会室		
出席委員氏名	委員長　中村　和宏	委　員　渡辺洋一郎	
	副委員長　正村紀美子	委　員　黒田　栄継	
	委　員　鈴木　健充	委　員　常通　直人	
	委　員　中田智惠子		議　長　早苗　豊
欠席委員氏名			
説明等に出席した者の氏名			
事務局職員	事務局長　安田 敦史	総務係長　佐藤 史彦	総務係主査 上田瑞紀

『会議に付した事件と会議結果など』

１　開　会

・委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

２　議　件

（１）調査事項

ア　議会だより11月号について　当日資料１

イ　議会だより12月号の編集企画について　資料２

ウ　９月定例会議の振り返りについて　資料３

エ　議会費補正予算案について　資料４

オ　第１回議会モニター会議開催要領案について　資料５

カ　議員間討議の実施案について　資料６

キ　多様な議員のなり手（議長諮問事項）について　資料７

ク　オンライン会議の検証（案）について　資料８

ケ　白樺高校（３学年）との連携協定事業の外部評価について　資料９

コ　北大公共政策大学院（HOPS）との連携協定事業案について　当日資料10

サ　芽室高校との意見交換会実施要領案について　資料11

３　その他

（１）次回委員会の開催日程（予定）について

（２）その他

２　議　件

（１）調査事項

ア　議会だより 11 月号について　　当日資料１

・鈴木委員：資料説明（校了日１１月４日等)。・委員長：質疑・意見はないか？

・(なし)

・委員長：説明のとおり決定する。

イ　議会だより 12 月号の編集企画について　　資料２

・鈴木委員：資料説明（校了１２月５日、４ページ予定等)。モニター会議を１２月７日に予定していることから、その際の意見等について、１～３月号に掲載する。

・委員長：質疑・意見はないか？

・(なし)

・委員長：説明のとおり決定する。

ウ　９月定例会議の振り返りについて　　資料３

・渡辺委員：厚生文教常任委員会所管について資料説明＜第 12 回委員会（10 月 7 日開催）において、①町営水泳プール整備事業に係る調査、②病院施設改修の今後の見通しと考え方の調査、③嵐山活用計画の見直しに係る調査、④議会・議員としての決算審査の意義等の確認について、議運で協議することとした旨説明＞

・委員長：振り返り事項について、取扱いを順に協議する。①については、本日、午前中に合同委員会で調査したことで了として良いか？

・(異議なし)

・委員長：②について、今後の所管委員会での調査として良いか？

・(異議なし)

・委員長；③についていかがか？

・正村委員：②同様に所管委員会で継続調査としていただきたい。

・鈴木委員：承知する。

・委員長：④についていかがか？

・中田委員：各自議員必携の確認等でいかがか？

・正村委員：中田委員の御提言に加え、次年度以降の研修計画を検討する際に念頭に置いていただきたい。

・委員長：意見・質疑はないか？

・黒田委員：申し送り事項とする意味か？今年度の議運の責任範疇としては、各自議員必携の確認という整理で良いのではないか？

・委員長：次年度以降への申し送りとして、研修計画策定の際に念頭に置いていただくというレベルとして整理したい。異議ないか？

・(意見・質疑なし)

・委員長：ただいま整理した内容で決定し、調査事項「ウ」を終了する。

エ　議会費補正予算案について　　資料４

・総務係長：資料説明（議会モニター要綱の改正に伴う予算補正。報償費を全額減額補正し、報酬を増額補正する旨説明。）
・委員長：意見・質疑はないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：決定する。なお、次回全員協議会（11 月 16 日）で改めて共有する。

オ　第１回議会モニター会議開催要領案について　　資料５

・正村委員：前回決定事項について、日程変更の協議をする。当初は 11 月 16 日（水）を予定していたが、予算措置（モニター報酬）の都合があり、12 月定例会議初日以降の日程として、12 月 7 日（水）に変更したい。
・鈴木委員：テーマ以外にも、自由意見の交換も考慮していただきたい。
・委員長：意見・質疑はないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：日程変更を決定し、次回全員協議会（11 月 16 日）で共通認識を図り、開催する。

カ　議員間討議の実施案について　　資料６

・正村委員：資料説明（趣旨、実施方法、協議事項、経過及び概要、特記事項）。本日は、特記事項に記載した「討議項目」について協議したい。案としては「全世帯対象」と「個別」のほか、分野（教育、保健・医療・福祉、産業経済）等である。
・委員長：意見・質疑はないか？
・黒田委員：何を課題として議論するのか、論点の設定を明確にすべきでないか？物価高騰の定義とは何を指し、何を目指すのかを明確にしなければ議論ができないのでは？
・正村委員：議会としては、先日、町から提案のあった補正予算について、今後も物価・原油等の高騰が継続、拡大するとした際に、どのような支援が必要かを議論したい趣旨である。
・黒田委員：何が課題で、何が対策か、そして、どこまで達成すれば成果なのか、などの視点が整理すべき事項と考える。ただ、単に困っている人たちを支援するというレベルでは議論が進行しないと考える。
・中田委員：議会としての結論は、どこに想定されているのだろうか？提言書などがその目標となるのか？
・正村委員：議員間討議の手法を活用し、各グループで出された意見については、各委員会（総務経済・厚生文教）で改めて整理していく手順をイメージしている。なお、黒田委員の御意見のとおり、目的と成果については、各グループで議論してはいかがか？
・常通委員：第３回合同委員会を踏まえて、かつ、議員研修で学んだ手法を活用し

て、議会（議員）が議員間討議を実践しようとする事業だと受け止めている。イメージや定義を広げすぎることなく、各自の視点で議論し、一定の結論を導くことで良いのではないか？

・渡辺委員：議員間討議をすることが目的と解している。そのテーマとして「物価高騰対策」としたのなら、この提案で目的は達成できるものと捉える。

・正村委員：今回の提案事業は、去る１０月５日開催の合同委員会における自由討議から導いたものである。町が提案する物価高騰対策以外に、議会も自主的に考えてみることが主眼である。その論点として、３つの視点で進めてはいかがか。３点とは、全世帯対象、分野別、支援時期である。

・委員長：他にないか？

・（意見・質疑なし）

・委員長：次回全員協議会（11 月 16 日）の協議事項（物価高騰に対する今後の支援策）について、ただいま決定した手法で実施する。

キ　多様な議員のなり手（議長諮問事項）について　資料７

・正村委員：資料説明（10 月５日開催の議員研修において議員間討議した結果を「答申書」をイメージした体裁で整理した旨を説明）

・委員長：意見・質疑はないか？

・渡辺委員：モニター会議での意見を答申に反映する方法はどのように考えているか？現時点で議会が検討している状況を基に、モニター会議で議論することでいかがか？

・委員長：異議ないか？

・（意見・質疑なし）

・委員長：次回の全員協議会（11 月 16 日）で協議し、答申に向けて議会内の共通認識を図ることを決定する。

ク　オンライン会議の検証（案）について　資料８

・正村委員：資料説明（令和３年度からの継続調査事項である「委員長裁量（その他委員長が必要と認めるとき）」と規定されるオンライン活用に係る方針案の説明）

・委員長：意見・質疑はないか？

・（意見・質疑なし）

・委員長：次回の全員協議会（１１月１６日）で協議する。

ケ　白樺高校（３学年）との連携協定事業の外部評価について　資料９

・正村委員：10 月 12 日及び 19.24.25.26 日で実施した事業について、PDM シート（外部評価シート）により案を整理した。評価内容について協議し、次回の全員協議会（11 月 16 日）で協議したい。

・委員長：意見・質疑はないか？
・常通委員：両委員会で事業の振り返りをしていただきたいがいかがか？PDM シートに反映されないような事項もあろうかと思うので、その内容も踏まえた振り返りをしたい。
・鈴木委員：生徒にとっては有意義だった感触がある。一方、議会としてはどうだったのか？検証は必要と考えることから、委員会において丁寧に振り返りをしていきたい。
・常通委員：PDM シートの完成形とは？空欄があっても良いものか？
・総務係長：指標の設定をしていない欄は空いていても良い。今後のシートの評価については、議運から全協へと評価の協議と共有。さらに、外部評価として、例えばモニター等の意見を反映し、その結果を議会として検証する流れになる。
・委員長：他にないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：次回の議運で改めて協議する。

コ　北大公共政策大学院（HOPS）との連携協定事業案について　当日資料 10
・正村委員：令和４年度事業として、HOPS からの要請に基づき、本町議会にインターンシップとして受け入れた三角幸子氏（公共政策学教育部２年生）の「特別研究（芽室町議会改革の現状と課題）」及び「自主研修成果（活性化計画書及び議会白書の提案）」の発表を受ける。この機会を議員研修と位置付けることを提案したい。
・委員長：意見・質疑はないか？
・常通委員：研修の対象として、町民活動支援センター、モニター等も含めてはいかがか？インターン本人の意思も確認して了ならいかがか？
・正村委員：モニターは理解するものの、特定の団体（町民活動支援センター）宛への積極的な案内は慎重にすべきでないか？
・黒田委員：先方の了解のもとで、モニターへの案内は同意するものである。
・委員長：モニターに限定した案内としたい。他にないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：次回、全員協議会（11 月 16 日）で協議する。

サ　芽室高校との意見交換会実施要領案について　資料 11
・常通委員：令和４年度事業として、途中経過であるが、先方と協議している提案したい。
・委員長：意見・質疑はないか？
・正村委員：実施内容に「政策内容に乗せる」とあるが、具体的な手順・イメージは？道立高校の運営に関し、町議会がどのようにかかわっていくのか？
・常通委員：芽室高校では学校の魅力化づくりを目標にしており、「魅力化」とは何かなどの議論を経て、政策形成サイクルに乗せられるものあれば、乗せていくと

いう意味である。
・委員長：他にないか？
・（意見・質疑なし）
・委員長：次回の議運で改めて協議する。

３　その他
（１）次回の委員会開催日程について
・正副一任

（２）その他
・委員長：「その他」で各委員からないか？
・（なし）
・委員長：議長からないか？
・（なし）
・委員長：事務局からないか？
・（なし）

以上をもって委員会を閉会する。

傍 聴 者 数	一般者	０名	報道関係者	０名	議　員	０名	合計	０名

令和４年 11 月２日

議会運営委員会委員長　中　村　和　宏